

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 16日

事業所名: おり〜ぶ上野山

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いい え	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1		基準を満たしているが、個別対応を必要とする時には不足を感じる場合がある。
	2 職員配置数は適切であるか	3	3	1	配置基準より多く配置しているが、活動内容によっては不足を感じる場合がある。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1		写真等を用いて視覚的にわかるよう配置している。また個別のボード等で見通しを持てるよう配慮している。児童館内ということもあり、スロープや手すり、点字ブロック、多目的トイレ、介助用ベットが設置されている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1		活動によりスペースを使い分けている。加湿空気清浄機2台、二酸化炭素濃度計を設置し、換気を行っている。また、玩具や室内の清掃・消毒も随時行っている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	4	1	職員からの意見の聞き取りは適宜行っている。改善すべき点等についての取り組みを全員に周知できていない現状がある。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			令和4年2月に保護者評価を実施した。今後の事業所運営に生かしていきたい。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			前年度分は掲載済み。 今年度分も3月にホームページに掲載予定。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			7	第三者による外部評価は実施していない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			コロナ禍により外部研修の機会は減ったが、オンラインによる研修等に参加している。法人内で階層別の研修を年数回開催し、各々が参加している。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7			アセスメントを実施し、保護者の同意を得て計画を作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3		放課後ケアネットワーク仙台で作成した共通の書式を使用している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	3		各項目に応じた目標をたて、支援内容を設定している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7			計画に沿って支援をしている。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2		毎月行事や設定活動の立案を職員で相談し決めている。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2		週ごとにプログラムを立案し、内容も固定化しないように配慮している。行事内容やメニューも重ならないよう工夫して立案している。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5	2		利用児に合わせ、個別・集団活動を適宜組み合わせている。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いい え	改善目標、工夫している点など
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1		常勤職員でミーティングを行っている。打合せに参加が難しい場合は、ミーティングノートを活用し、確認を行っている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	5	1	シフト制であること、延長利用児童もいることから、打合せという形ではできていないが、口頭で伝達をする、ミーティングノートに記載する形で、共有をしている。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1		個別支援計画に沿った記録をとっており、その他特記事項も必要に応じて記載している。ヒヤリハットの共有に努めているが、記録が残っていないことがある。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	3		6か月に一度、モニタリングを実施。計画の見直しもしている。6か月以内でも必要に応じて見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	6	1		児童発達支援管理責任者または、児童発達支援管理責任者の資格を有する職員が出席をしている。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	2		児童館・相談支援事業所等と連携をとりながら支援を行っている。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	5		医療的ケアを必要とする児童の受入れは行っていない。現在対象となる児童の利用はないが、対象児童が利用する場合は、連携して支援をしていく方針である。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	5	1	医療的ケアを必要とする児童の受入れは行っていない。現在対象となる児童の利用はないが、対象児童が利用する場合は、連携して支援をしていく方針である。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	6		今年度は保護者との情報共有が主であったが、保育園に送迎に行くことがあり、その際に情報共有を図ることはあった。過去には必要に応じて担当者会議や引継ぎを行った事例もある。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	6		今年度は保護者との情報共有が主であった。過去には必要に応じて担当者会議や引継ぎを行った事例もある。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		6	1	コロナにより研修が中止となったため参加出来ていない。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7			児童館との合同行事を年数回実施している。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			7	参加できていない
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			日々の送迎時や連絡帳、モニタリング時に活動内容や様子などを伝えている。また、家庭での様子の聞き取りも行い、共通理解を持って支援をしている。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	5		ペアレントトレーニングまでには至っていない。面談時や送迎時等に相談に応じることや、適宜助言等を行っている。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いい え	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		新規契約時、毎年の更新時や変更時に書面とともに説明を行っている。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	1		項目ごとに目標を設定し、保護者と確認を行っている。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	2		適宜行っている。助言までに至らない場合もあるが、傾聴しその後も様子を確認しながら一緒に解決を目指している。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			7	保護者会等の開催はしていない。例年行っている茶話会も、昨年同様今年度もコロナの影響で開催ができていない。保護者に「聞きたいこと」のアンケートを取り、先輩保護者からそれについての回答をまとめた冊子を作成・配布することでその代替を図っている。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			苦情解決制度を設置し、周知している。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1		ホームページに活動写真を掲載している。行事や設定活動のお知らせを毎月配布しており、おり～ぶ4事業所の活動内容等を掲載した「おり～ぶ通信」も年2回発行している。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			施錠できる場所に保管している。研修等も行っており、職員一人ひとりが意識をして行動している。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1		構造化やそれぞれのお子さんにわかりやすい伝え方をしている。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3		児童館を利用しているお子さんとの交流行事を立案し、実施している。
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1		各マニュアルを作成し、職員に周知するとともに事業所にファイリングしている。保護者に周知しきれていない部分もある。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1		児童館と合同で定期的に避難訓練や救命講習を行っているが、主に平日に開催することが多く、参加出来ないお子さんもいる。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	1		発作や服薬については、事前にアセスメントシートを記載していただき、対象方法や配慮事項を確認している。予防接種について、確認しきれていない。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			7	現在医師の診断による食物アレルギーのある児童の利用はない。これまでに診断されることがある等、保護者から食材や様子等の聞き取りは行っている。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	1	事故報告書を作成し、共有することで再発防止に努めている。ヒヤリハットは口頭での共有にとどまってしまうことが多く、記録に残すことが少ないため、一人ひとりが意識をするよう会議等で再度確認し、努めているところである。 事例集は作れていない
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			定期的にチェックリストで振り返りを行い、話し合いの機会を設けている。法人内の研修にも参加している。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	1		必要な場合は、保護者の了承を得て個別支援計画に記載している。